



今回は、雲南市へイターンされた方を紹介します。
東京から大東町佐世地区へ移住された野中浩一さん(28才)・優子さん(27才)夫妻。現在、浩一さんは、県内でも初の取り組みとなる「カウセリング事業」の開業に向け、準備をすすめています。

わがまちの暮らし

なぜ雲南市へ
浩一さんは、今年3月まで進学塾の講師として、また、学生時代には心理学を学ぶとともに演劇部に所属され、幅広い活動をしてこられました。
「これらの経験を活かした新しい事業を、新しい土地でぜひ実現したい」との想い、また「田舎暮らしをしたい」との学生時代からの夢を実現するため、移住をしようと考えはじめたそうです。
そこに飛び込んできたのが、海潮地区で開催されている「田舎暮らし体験ツアー」の記事。この記事を見て、実際に空き家を見し、雲南市への移住を決意されました。
移住後は、スキルアップのため松江市で開催されている「起業家セミナー(6~11月)」を卒業し、現在は新規事業開設に向け準備をすすめています。
野中さんが事業展開を試みるカウセリング事業は、劇的カウセリングという新分野で、「心理学」、「演劇」、「教育」の3要素を組み合わせた専門的・総合的な心の助言・相談業務です。
また、劇的カウセリングはコーチングの要素も含んでいます。これは本来持っている能力や可能性を最大限発揮できるように支援す



劇的カウセリングとは
野中さんが事業展開を試みるカウセリング事業は、劇的カウセリングという新分野で、「心理学」、「演劇」、「教育」の3要素を組み合わせた専門的・総合的な心の助言・相談業務です。
また、劇的カウセリングはコーチングの要素も含んでいます。これは本来持っている能力や可能性を最大限発揮できるように支援す

るものです。
そして、この事業の対象は幅広く、子どもから大人までの個人のほか、職員研修や労務上の悩み相談にも携わることから、法人や企業も対象となります。
浩一さんは「まだまだ、鳥根県では認知度の低い事業ですが、12月のカウセリング出前講座からスタートし、来年5月を目途に松江市での事務所開きを予定しています」と抱負を語ってくれました。
田舎暮らしを体験して
開業準備をサポートする優子さんは「草木のにおいを感じ、虫の声を聞きながらのここの暮らしには満足しています。初めての出産を控え、子育てを楽しみながら、ここの暮らしにもなじんできてほしいです」と話してくださいました。
また、浩一さんも「とにかく分野の事業ですので、地域との連携が重要だと思っています。積極的に地域行事やまちづくりグループにも参加し、この事業を地域の活性化に繋がるものに育てていきたいです」と力強く語ってくれました。
劇的カウセリング事業については、野中さん自身のブログ「田舎で起業!」
<http://geocities.yahoo.co.jp/gl/churu-churu>でも紹介していますのでぜひご覧ください。



起業家セミナーでの研修発表の様子(一番左)



市内への新たな進出や、設備の増設を計画している企業4社への「雲南市企業立地計画認定書」の交付式と、各企業と雲南市の間で「工場等



「立地計画認定書」の交付と「工場等の立地に関する覚書」への調印



雲南市の認定企業数は、今回のものを含め8件となりました。

11月6日には、市役所でウチヤマコーポレーション(株)横田誠取締役社長)のそれぞれの代表者へ、速水市長から立地計画認定書が手渡されました。
市では、各社への資金面・雇用確保の面で支援・協力予定のほか、さらなる企業の進出に向け、積極的に取り組んでいきます。

立地に関する覚書」の調印が行われましは、(株)ホテルシステムズ(山本誠代表取締役)、(株)丸八ポンプ製作所(野崎敏夫取締役社長)、島根イーグル(株)(金田忠明代表取締役社長)の3社、10月18日には、(株)ホテルシステムズ(山本誠代表取締役)、(株)丸八ポンプ製作所(野崎敏夫取締役社長)、島根イーグル(株)(金田忠明代表取締役社長)の3社、

企業の概要

企業名(本社所在地)	業種(事業内容)	操業開始(予定)時期
(株)ホテルシステムズ(大阪府大阪市)新規	ゴルフ場(ゴルフ場経営)	平成18年6月1日
(株)丸八ポンプ製作所(東京都中央区)新規	ポンプ製造業(部品加工・組立、試験)	平成19年1月
ウチヤマコーポレーション(株)(東京都中央区)新規	資材、建材の販売・加工(断熱包装資材加工業務等)	平成18年12月
島根イーグル(株)(掛合町多根)増設	輸送用機械器具製造業(自動車関連部品の製造等)	平成18年8月

雲南市水道事業総合整備計画と水道料金の平準化に関する答申



今回の答申による水道料金改定案は平成19年度からの5か年を算定期間としています。

有識者や市議会議員、住民代表など14人の委員によって調査・審議されてきました。
市では、今回の答申を受け、雲南市水道事業総合整備計画(計画目標年度・平成27年度)に沿った施設整備などを実施していくとともに、健全経営のため平成19年度から水道料金を市内同一料金へと統一していく予定にしています。
なお、答申の内容は雲南市ホームページで公開しているほか、雲南市水道局で閲覧することができます。

雲南市水道事業に関する審議会委員(敬称略)
会長 宮川 昇、副会長 石飛郁輔、委員 和泉利男、内田郁夫、江角一津枝、倉内敦子、杉原 儀、高橋美智子、藤原重達、堀江貞男、堀江治之、吉原邦行、若槻昭夫、渡部茂子
10月17日、第7回目となる雲南市水道事業に関する審議会が市役所会議室で開かれ、審議会を代表して宮川昇会長から速水市長へ答申書が手渡されました。同審議会では、7月4日に市からの諮問を受け、今後の水道事業の取り扱いと市内水道料金の改定について、